

早稲田大学各務記念材料技術研究所オープンセミナー

主催：早稲田大学各務記念材料技術研究所

協賛：軽金属学会・日本機械学会・日本金属学会・日本材料学会・日本鉄鋼協会・日本表面科学会
日本アルミニウム協会・石油学会・粉体粉末冶金協会・炭素材料学会・日本鑄造工学会・応用物理学会・日本真空学会
早稲田機友会・早稲田材料工学会・早稲田電気工学会・電力技術懇談会・原子力学会・日本アイソトープ協会（順不同）

テーマ「劣化を科学する先端計測・診断法」

我が国のみならず、いわゆる先進国の経済は成熟期となっています。このため、建築物や装置・設備などの社会インフラが頻繁に更新されず、永い年月使われるようになっております。したがって、経済が高度成長しているときには、さほど重要ではなかった、材料や装置の劣化への対策が重要となっています。このような状況で、装置や設備を安全に使用し続けるためには、劣化の種類や程度、生じている場所を正確に計測し、事故の発生する時期を精度良く予知することが重要となります。本セミナーでは、施設・設備に生じる劣化現象を材料科学的にきちんと把握するとともに、劣化を非破壊で計測するための基礎となる先端的計測法を探ってゆきます。このセミナーが参加者と講師諸氏との有意義な情報交換、意見交換の機会となれば幸いです。

1. 日時：2012年10月30日（火）10:00～17:40
2. 会場：早稲田大学西早稲田キャンパス（旧・大久保キャンパス）63号館03会議室
（東京都新宿区大久保3-4-1）
3. プログラム：

時間	講演題目等	講師等
10:00～10:05	挨拶	小山泰正（各務記念材料技術研究所 副所長）
10:05～10:10	開会挨拶	大木義路（運営委員長）
10:10～11:00	リスクベース設備管理	酒井潤一（早稲田大学理工学術院教授）
11:00～11:50	原子力環境下における金属の劣化	関村直人（東京大学大学院工学系研究科教授）
11:50～12:50	昼食	
12:50～13:40	3次元アトムプローブによる材料劣化機構の研究	永井康介（東北大学金属材料研究所教授）
13:40～14:30	陽電子顕微鏡による高感度空孔型欠陥分布計測	藤浪真紀（千葉大学大学院工学研究科教授）
14:30～15:20	テラヘルツ分光計測とイメージング応用	保科宏道 （理化学研究所テラヘルツイメージング研究チーム）
15:20～15:40	休憩	
15:40～16:30	計装用ケーブルに用いられる高分子絶縁材料劣化の非破壊迅速診断とメカニズム	関 修平（大阪大学大学院工学研究科教授）
16:30～17:20	鉄筋コンクリートの劣化の評価方法	橘高義典（首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授）
17:20～17:30	閉会挨拶	大木義路（運営委員長）
17:45～19:30	懇親会	

4. 参加費：無料
5. 定員：150名（定員になり次第締め切らせていただきます）
6. 申込み手続き：材研ホームページの申込みフォームにてお申し込みください。
URL <http://www.waseda.jp/zaiken/index.html>
7. お問い合わせ先：早稲田大学各務記念材料技術研究所 オープンセミナー係（担当：反田、松本）
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-8-26
Tel:03-3203-4782 Fax:03-5286-3771
E-mail zaikenjimu@list.waseda.jp
8. 申込み締切日：10月16日（火）

会場へのアクセス

東京メトロ副都心線	西早稲田駅 3番出口（早大理工方面口）直結
JR 山手線 東京メトロ東西線 西武新宿線	高田馬場駅 徒歩 15分
JR 山手線	新大久保駅 徒歩 12分
都営地下鉄大江戸線	東新宿駅 徒歩 15分
都営バス（池 88・早 77・高 71）	都立障害者センター前

地図

